

今回は「社会人の教科書」という本からです

宴会芸は死ぬ気でやれ！

キャリアアップのためには、自分を磨くことが大切です。人は、一緒に仕事をして楽しい人と、また仕事をしたいと思うからです。仕事も遊びも趣味も徹底してやる人は面白い。それは、宴会芸も同じです。

忘年会や新年会、そのほかのイベントなどで、宴会芸を披露する機会があると思います。新入社員や中途社員など新人と呼ばれる人たちは、必ずやるものだと思って間違いないでしょう。その機会がやってきたら、恥ずかしがることなく、準備に時間をかけて、必死に取り組んでください。

僕がこの姿勢を学んだのは、ハーバード・ビジネス・スクール同期だった、商社に勤務するノリという仲間の言動です。「宴会芸は仕事と一緒に。絶対に手を抜くな」留学中の一時期、留学生全員で来日する「ジャパン・トリップ」というイベントが催されました。昼間は日本企業の経営者のもとを訪れ、インタビューやディスカッションをして勉強し、夜は交流を深める飲み会で大騒ぎする。

とりわけ、箱根の温泉宿に宿泊した時の宴会は、日本滞在中の最大イベントになりました。ホスト国の日本人が、外国人の留学生仲間の前で様々な「芸」を披露するのです。中心になったのは、やはりノリです。

ある休日の朝、彼は日本人全員に集合をかけます。何かかと思って行ってみると、宴会芸の練習をするというのです。宴会当日を迎えても僕たちはギリギリまでリハーサルを重ねました。出し物一つに替え歌があったのですが、本番で歌詞を間違えないように、奇妙な歌詞を紙に書いて床に置いておく念の入れようです。そのおかげで、僕たちの「芸」は大爆笑を誘い、箱根の夜は大盛況のうちに幕を閉じたのです。

ライフネット生命のトップ・出口も負けていません。カラオケに行くと、光GENJIのヒット曲「ガラスの十代」を歌詞替えて髪を振り乱しながら歌うのです。たかが宴会芸と思わないでください。仕事ができる人は、徹底してやります。宴会芸を死ぬ気でやる人は、周囲からの評価も高くなると思ってください。ここで、「いやあ、僕は遠慮しておきます」などと恥ずかしがらないでください。宴会芸を積極的にやらない人は、むしろ社会人としてのポイントがダウンすると思って間違いありません。単なる芸の話ではないのです。チームワークやここ一番での勝負強さを試されるとと思ってください。

ライフネット生命に普段おとなしい社員がいます。僕も会話を交わしたことがほとんどなく、蚊の鳴くようなか細い声で話す社員です。その彼が、一昨年の忘年会で大いに弾けました。普段シャイな彼が大きな声で皆の前で力いっぱい自分の芸を披露したのです。座は異様な盛り上がりを見せました。僕は、会を盛り上げるために自分の殻を打ち破った彼の姿に、ある種の感動すら覚えました。

そういう姿は、絶対に忘れません。上司や先輩の記憶に残るだけでなく、何事にも真剣に取り組む姿勢が信頼感にもつながると思います。やるべきときに死ぬ気になってやる人は、必ず評価され、次のチャンスが巡ってくるものです。

上司や先輩は、あなたの仕事ぶりだけを見ているのではありません。イザというときに腹をくくれるか。一度やると決めたことをやり抜く人なのか。何事にも斜に構えず本気で向き合う人なのか。大げさに聞こえるかもしれませんが、宴会芸に取り組む姿勢を通して、あなたのトータルな人格を見ているのです。

仕事ができる人は、徹底して何をしますか？

()

上司や先輩は宴会芸を通じて何をしていますか？

()